

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ

(本宮市立本宮第一中学校)

実践の具体的な内容

取組による成果



- タブレットを活用し、実践的な対話形式やナレーションなどのアウトプット活動を多く取り入れた。
- CAN-DOリストを活用し、身に付けたい資質・能力を生徒と共有することで学習のゴールの見通しをもたせた。

- タブレットでの録画により、生徒が自分の姿の変容を把握したことで、よりよい発表とするために、繰り返し取り組むようになった。
- 見通しをもたせることで生徒に必要な感をもたせ、帯活動をとおして、語彙力や表現力を身に付けさせることができた。

拠点校Ⅱ

(本宮市立本宮まゆみ小学校)

実践の具体的な内容

取組による成果



- 児童がわくわくするような課題を設定し、タブレットで画像を見せながら自分のことを英語で表現する活動を行った。
- CAN-DOリストについて、教師が小・中学校での児童生徒の実態について情報交換を行いながら作成した。
- Google Driveに共有フォルダを作り、教師が実践の交流を行った。

- ホームステイで自分のことをホストファミリーに英語で紹介する課題設定により、児童が主体的に話す内容を変えたり、画像を編集したりして、英語で生き生きと自己表現できるようになった。
- CAN-DOリストを児童と共有したことで、児童にゴールの姿を具体的に示すことができた。

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

協力校

(本宮市立本宮小学校)



実践の具体的な内容

- 児童が、タブレットを使って画像を見せながら、自分のことを英語で表現する活動を行った。
- タブレットを使用し、児童の関心を高めながら書く活動を行った。
- 小・中学校が連携してCAN-DOリストを作成した。

取組による成果

- 児童は、画像を友だちに見せながら、自分の考えを伝え合うなど、楽しく会話ができるようになった。
- 児童は、英語をなぞったり、写したりする活動で、英語を書く抵抗感を減らし、楽しく活動することができるようになった。